



# ひがしとよなか だより

学校目標 豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

令和6年(2024年)度7月号

豊中市立 東豊中小学校

校長 河上洋介

## 第1回学校運営協議会の報告について

5月23日(木)の18:30~19:30に多目的室にて第1回学校運営協議会を開催しました。

事務局として校長、それから委員7名の出席がありました。

まず、出席者の承認を得て、会長、副会長を選出しました。次に、学校運営に関する基本方針、学校目標について、事務局より説明を行った後、協議会の承認を得ました。その際、学校目標を、教室や職員室前等、目につくところに掲示しておく日頃から意識できるのではないかとといった意見や、仕事でチーム目標を決めるときに、長い文章だと誰も覚えていなかったことがあるので、分かりやすい言葉にするとよいといった意見が、委員から出されました。その後、地域、保護者、学校の協働による取組みにかかる熟議を行いました。熟議では、昨年度、PTA主催の餅つき大会を地域との協働により10数年ぶりに再開できたように、PTAと地域が協力して行事を行うことについて意見を交わしました。その中で、子どもが火を扱うことがある場合、やけどをしない工夫をしつつ、どうすればやけどをしないのかについて学ぶことも子どもたちにとって学びになるのではないかとといった意見や、今の世の中は何でも便利になっているので、例えば、火をおこす活動を通して、あえて不便さを体験することもよいのではないかとといった意見が出されました。

ところで、今年度も、学校運営協議会委員でもある中尾さんには、1、2年生の野菜の栽培や5年生の田植え体験等でお世話になっています。同じく千原さんには、6年生の平和学習でお世話になっています。これらは、地域の方々の協力によって、学校の授業、子どもたちの学習がより豊かになる取組みと言えます。このように、地域、保護者、学校の協働による取組みが、学校での学習内容とつながると、さらに充実していくように思い

ました。また、最近、ウェルビーイングという言葉を目にします。この言葉の意味を一言で言うことは難しいですが、今の自分の幸せにとどまらず、将来の幸せ、他者の幸せ、社会の幸せ、といったものも含む幸福な状態を指す言葉だそうです。人とのつながりの中で、「きっと何とかなる」「やってみよう」と思える自己効力感や、「きっと自分は大丈夫」と思える自己肯定感を育むことが、ウェルビーイングにつながっていきます。ウェルビーイングについて考えるとき、地域、保護者、学校の協働による取組みは、より重要な役割を持つようにも思います。一方で、行事の内容や数を増やすことが重なると、負担が増えることが心配です。無理なく続けることができるようにすることも大切と考えています。

### <連絡やお願い>

・小学校スクールカウンセラー福島さんの次回派遣日は7月1日（月）です。面談希望がありましたら担任あてお申し出ください。

・子どもたちの放課後の過ごし方について、1人にならないようにすることや、出会った人に対して変だ、怖い、と感じたらすぐにその場を離れること等について、ご家庭でもお子様に話をしてください。その際、校区外に子どもだけで遊びに行ってはいけないことや、マンションや団地の敷地、道路等、遊び場となっていない場所で遊んではいけないことについても、話をしてください。

・熱中症事故防止について、ご協力をお願いします。

・帽子を被って登校させてください。日傘を持たせていただいても構いません。

・十分な量のお茶を水筒に入れて持たせてください。スポーツドリンクも可としますが、その場合は2本水筒を持たせ、そのうち1本にスポーツドリンクを入れてください。

・クールタオルやネッククーラー、保冷剤、冷却シート等を持たせていただいても構いません。ただし、学習活動の内容によって、使用できない場合があります。

・食事や睡眠等、規則正しい生活習慣にご留意いただき、お子様の体調を整えてください。